

学校法人 寶城学園
理事長 浅沼 成之 様

令和2年度
学校関係者評価報告書

令和3年3月

学校法人 寶城学園 学校関係者評価委員会

令和2度は全2回の学校関係者評価を実施した。去る令和2年5月22日に、第1回目の評価委員会を開催し、令和3年2月11日に、第2回目の評価委員会を園児音楽会と同日に開催した。園長より令和2年度の職員自己点検・自己評価の報告と学園の財務状況や事業内容についての報告を併せても受けた。職員の自己点検・自己評価を踏まえ学校評価を取り纏め、3月26日に榎原委員長より令和2年度の学校評価及び改善策について理事長へ報告をした。

令和2度の学校評価について下記のとおり取り纏め、ここに報告致します。

令和3年3月26日

学校関係者評価委員会
委員長 榎原 正晴

1. 学校評価委員会の構成

※ ◎は委員長

選任区分	氏名	任期
民生児童委員	◎ 榎原 正晴	H31.4.1～R4.3.31
元教育関係者	松村 剛	H31.2.1～R4.3.31
卒園児父母	山崎 剛	H31.4.1～R4.3.31
卒園児父母	小柳 典央	H31.4.1～R4.3.31
元PTA会長	横山 浩章	H31.4.1～R4.3.31
前PTA役員	中野 朝子	H31.4.1～R4.3.31

2. 委員会の開催状況

第一回目 日時 令和2年5月22日(金) 午前18時30分より
場所 学校法人 寶城学園 理事長室
参加 5名(園長含む)
内容 前年度事業報告、学園運営状況の聞取り

第二回目 日時 令和3年2月11日(木) 午後2時00分より
場所 学校法人 寶城学園 理事長室
参加 6名(園長含む)
内容 幼稚園音楽会の参観、自己点検・自己評価の報告、学校評価について意見交換、取り纏め

第三回目 日時 令和3年3月26日(金) 午前11時00分より
 場所 学校法人 寶城学園 理事長室
 参加 2名(園長含む)
 内容 令和2年度の学校評価の改善策について、設置者へ報告

令和2年度の教育活動に対する学校評価

自己評価・自己点検			学校関係者評価	
項目	評価の項目	判定	意見・評価	判定
教育目標	園目標は地域の特色を生かし、前年度の反省を踏まえ、職員全員共通理解をしているか	A	前年度同様概ね達成ができていると評価する。引続き全職員年間目標を共有すること。	A
指導	指導計画が幼児の実態に則し、教材・教具を適切に活用し、指導の改善に努めているか	A	新型コロナウイルスの影響で保育計画等に影響がでたが、概ね良好だと評価する。	A
教育計画	行事の種類や回数に配慮し、ねらいを教育計画に生かし、実践的な活動にしているか	B	休園の影響で、様々な行事が中止や延期となり、対応に苦慮しながら頑張ったと思う。	A
情報	個人情報の管理と公文書の收受、発送と処理、各表簿の適正な作成と管理をしているか	A	重要書類の管理は、一括して理事長室金庫にて適正に管理がなされている。	A
施設・設備	園舎・園地の安全管理と遊具・教具等の適正な保管と不審者等の対策は万全か	C	遊具・教具は、定期的な点検により、安全に管理されている。北館施設の老朽化が目立つ。	B
保幼小等の連携	他校種との交流計画や指導者同士の合同研修等の場を設けお互いに情報交換を行い、教育に対する理解を深めているか	B	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、交流はすべて中止になったので、適正な評価が行えないと思う。	B
分掌・運営	職員の配置や仕事の分担・割り当てが適切か。各種会議は効率よく進めているか	B	近年課題であった会議の持ち方が、改善されている。引き続き効率化を求める。	B
クラス経営	目標は幼児の実態に則し、学年、学級目標のねらいは適切か 評価・資料を集積しているか	A	コロナウイルスへの対策を盛り込んだ保育計画を継続することが重要。	A

自己評価・自己点検			学校関係者評価	
項目	評価の内容	判定	意見・評価	判定
保険指導 と 安全指導	避難訓練、交通安全指導は、計画に基づき実施され、健康や安全に必要な習慣や態度育成のため、家庭へ啓発を行っているか。関係機関との連携はとれているか	A	手指消毒やマスクの着用等、園児及び保護者への周知徹底がなされていると感じた。引き続き取り組んでほしい。	A
研究・研修	研究主題は、教育目標の具現化につながり、研修の計画、運営は適切で、研修への参加体制の充実と研修結果の還元に努めているか	B	外部の研修が軒並み中止になる中、研修リーダーを中心に園内研修が実施できたことを評価する。	B
子育て支援	地域の子育て支援センターの役割と、実態を捉えた預かり保育の実施に努めているか	B	コロナ対応により、思うように開催できなかったことが残念。	A
情報の発信	学年だよりやホームページを活用して、園の情報を外部へ発信できているか	A	HP 更新頻度を改善し、随時園の情報を伝えていく事。動画の配信は、引続き実施してほしい	A

・上記の自己評価、学校関係者評価を経て、下記の点を令和3年度への課題として挙げます。

- 新型コロナウイルスの影響で、年度当初休園を余儀なくされたが、休園中も学年毎に動画の配信等を行う工夫がみられた。次年度も暫くの間は、新型コロナウイルスの影響が予想されるため、感染対策を講じながらの保育提供をお願いしたい。
- 令和元年度の反省に上がった園内研修は、研修リーダーが中心となり計画、実施することが出来たのは大きく評価したい。次年度以降も継続した園内研修の開催を期待するとともに、外部研修が再開後は、職員全体で積極的に参加をお願いしたい。
- 北館園舎の老朽化が目立ち始めてきた。こども達が安全で安心して園生活を送れるように、施設設備の維持管理に努めてもらいたい。

- 園長より預かり保育の利用者が急増している報告を受けた。適正な利用環境が維持できるように、保護者へも周知徹底をお願いしたい。預かり保育に従事する職員の負担が大きいと聞いている。対応する人員について新規採用を含め対応を検討する必要があると感じた。

令和2度は、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、対策に追われる中、先生方は様々な工夫を用いて、一年間取組んできたことに、評価委員一同高く評価をしたい。次年度も引続き新型コロナウイルスへの対応が迫られることが予想されるが、安心安全な保育提供を維持することをお願いして、令和2年度の報告とする。

以上のとおり報告致します。

令和3年3月26日

学校法人 寶城学園 学校関係者評価委員会

委員長

葉原 正晴

